

【資料3】 2023年度 ゼミ論文・卒業研究タイトル

言語文化ゼミ	人間文化ゼミ
<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの歴史・ことばの地理 上野和昭先生 ・ことばの科学・ことばの哲学 酒井智宏先生 ・ことばと文学・ことばと美意識 陣野英則先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ツーリズム論 寺崎秀一郎先生 ・宗教への人類学的アプローチ 國弘暁子先生 ・移動・移住の人類学 松前もゆる先生 ・環境と開発の人類学 箕曲在弘先生
超域文化ゼミ	感性文化ゼミ
<ul style="list-style-type: none"> ・都市と美術 坂上桂子先生 ・文化変容論 宮城徳也先生 ・集合的アイデンティティの諸相 山田真茂留先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の文化哲学 小林信之先生 ・メディア・コミュニケーション論 高橋利枝先生

言語文化ゼミ(ことばの歴史・ことばの地理) 上野和昭先生

日本プロ野球の応援歌におけることばの使われ方について
 大学生の一人称の使用実態
 東京都多摩地域における昔話の継承と方言利用
 日本における映画タイトル考
 生方美久脚本ドラマにおける「大丈夫」の使用実態
 ネットスラング「香ばしい」の使用実態
 「讃岐弁」の現在における使用実態——世代間における差異に注目して
 インターネットスラングの拡張と衰退
 Xで見られる「サミ形」
 非首都圏出身の大学生が持つ方言意識について

言語文化ゼミ(ことばの科学・ことばの哲学) 酒井智宏先生

とってつけたような名前はいかに指示するか?——メトニミ的解釈による説明——
 日本語関係節の時制解釈——野村(2013)による主要部内在型 関係節の分析を出発点として——
 〈信念〉用法の「XはPつもりだ」における前提
 「いまのダジャレだよ」はしゃれに對しいかにしてはたらくか——ユーモアを解説するという言語行為——
 会話の含みの取り消し可能性に関する2つの誤解——文脈的取り消しを手がかりとした取り消し可能性の再評価——
 日本語の共感覚的比喩における一方向性仮説の射程——書き言葉コーパスを用いた出現頻度の調査から——
 接尾辞「感」の二つの用法——「X感」の後続表現から——

言語文化ゼミ(ことばと文学・ことばと美意識) 陣野英則先生

絵本の魅力と読み聞かせの可能性
 兼家妻から道綱母へ —— 蜻蛉日記の時間表現からみた作者の意識の変容——
 日本の祭りと日本人の関わりについて
 メディアとの関わりから考察するミュージックビデオ
 ミュージカルの浸透——日本にミュージカルが浸透しない原因と改善策——
 近年日本の海外映画配給における表現の傾向

人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) 寺崎秀一郎先生

これからの地方自治体の在り方 ——過疎化が進む日本社会で関係人口が果たす役割——

伝統工芸存続に向けた価値創造と挑戦——江戸切子の伝承とスクール事業の展望——

日本における死生観の変化とその影響—現代寺院の在り方を考える—

地産地消と直売所—鎌倉市農協連即売所から見る伝統野菜が持つ地域活性化への可能性—

異国の人と「共に生きる」ということ——東京都新宿区・大久保地域を事例に——

明日香村の住民によるソフトなまちづくり

地域活性の方途としての都市型アートプロジェクトの実態と存立可能性——横浜・黄金町のアート実践の変遷と課題

“多文化共生”という空想—マルチエスニックタウン・愛川町の現実—

開港都市横浜の景観がもたらす価値とは—日本大通り・山下町エリアへの訪問者のイメージや想いから考える—

人間文化ゼミ(宗教への人類学的アプローチ) 國弘暁子先生

双方向的な音楽の探求——ブルースに立脚して——

韓国人についての「国民性」の言説分析—その虚構性と、グローバル化の中のナショナリズムへの寄与—

海洋生物の魔除けからみる人間の根源にある思考

日本の美白信仰——伝統的美意識の本質——

完全栄養食から見える現代の食

日本における、体系化されていない個人規模対人呪術の理論分析と考察

ニュージーランド・マオリ文化の空洞化——インドとの比較から探る——

女性と性と欲——推し活から見る危険性と性教育——

日本産ゲームと海外産ゲームの比較——日本ゲーム大賞とGame of the year を対象に——

人間文化ゼミ(移動・移住の人類学) 松前もゆる先生

猫島におけるツーリズム・保護活動・コミュニティ——佐柳島と相島におけるフィールドワークを通じて——

群馬県大泉町に於ける外国籍住民との共生の可能性と課題

日本における外遊びの減少と実態

化粧の歴史と現代大学生への調査から考える日本のジェンダー規範

世界遺産登録の本質的意義と今後の在り方—鎌倉を事例に—

日本におけるものまね芸の進化と文化的機能

非経済的側面に見る道の駅の地域貢献——道の駅「両神温泉薬師の湯」の事例から——

日本の若者におけるミュージカル普及の条件とは—『レ・ミゼラブル』と『フィスト・オブ・ノーススター～北斗の拳～』の

ギャンブルに対する認識の違い

将棋ソフトを巡る将棋の現状に関する考察

現地住民と観光客の関係性について——江の島地域を事例に——

インドとカースト——「伝統」と「未来」——

人間文化ゼミ(環境と開発の人類学) 箕曲在弘先生

九十九里の水産加工企業から見る郷土料理の新たなあり方——「美味しい」が伝える郷土料理——

パーマカルチャーのデザインとはどのように行われるのかカナダのオンタリオ州キンバリーの育苗場における参与観

理想の多文化共生社会を求めて——新大久保での在留外国人への聞き取り調査の結果から——

マレーシア華人の変容と差異——クアラルンプールにおける華人家族のファミリー・ヒストリーを事例として——

日本の自主管理体制による水産業衰退の真実——漁業関係者の想いに注目して——

神田祭における関係人口の創出——神田祭の担い手に注目して——

現代における断食道場の意義役割

山梨県 山梨市 における「4パーミル・イニシアチブ」の農業への浸透 と認証制度 ——農業従事者への聞き取り調査

資本主義社会における循環型農業—埼玉県秩父市吉田地区の事例を取り上げて—
東京の生物多様性の保護活動における環境保全のフレームワーク——行政と市民団体とのかかわりから——
ホームレス支援における課題 ——再ホームレス化問題——

超域文化ゼミ(都市と美術) 坂上桂子先生

ミュシャ様式の諸相—連作《四季》を中心に—
アルフォンス・ミュシャの女性像
メアリー・カサット《オペラ座の黒衣の女性》について
アンディ・ウォーホルの広告アート
直島にみる現代アートの力による地域活性化
『ハウルの動く城』と西洋絵画の関係
フェルメールの女性像
ターナーの光の形
ベルト・モリゾと18世紀ロココ美術の関係性
マリーナ・ベイ・サンズと風水の研究
ル・コルビュジエの建築・都市計画の形成—『輝く都市』とチャンディガールを中心に—
モスクワの地下鉄—変遷するデザインの中に見るロシア的要素—
アントニ・ガウディの建築における自然と都市の調和
地域に馴染む坂茂のモニュメント建築—《静岡県富士山世界遺産センター》を中心に—
奈良原一高の『ヨーロッパ・静止した時間』——スタティックな総合芸術としての写真集——
日本における芸術祭の発展とアートの在り方 — 北川フラムの手がける芸術祭を事例として—
ベルト・モリゾの「女性像」
フィギュアスケートの芸術性—ルール改正に見る鑑賞物としての展望—

超域文化ゼミ(文化変容論) 宮城徳也先生

ミュージカル『エリザベト』から考える翻案ミュージカルの意義
ディズニー映画における家族
ジョン・レノンの音楽制作における日本文化の影響——禅と俳句とジョン・レノン——
「近現代の日本における家庭料理の変容—家庭料理規範の観点から—」
ポリティカル・コレクティブとディズニー映画
ゲルハルト・リヒターの絵画における制作方法とイデオロギーの関係性
ファッション業界の変容
翻訳観の共通点・相違点から考察する 翻訳と言語表現の可能性——多和田葉子・村上春樹・藤本和子を中心に——
日本における蛇神話の成立と蛇神のイメージ
ファリヤの作品に見る「スペインらしい」音楽
日本における多文化共生の可能性——観光分野との連携と今後の展望——
異なる言語における話者の思考の違い—言語、文化、思考の関係性 について
多様化する日本のテーマパーク
日本ポップカルチャーにおける西洋オカルティズムの受容
お笑い文化におけるコトの文化的変容
米津玄師の『Lemon』にみる日本大衆音楽の普遍さ
ミュージカル作品におけるビジュアルの国による違いについて——上演環境からの考察——

超域文化ゼミ(集合的アイデンティの諸相) 山田真茂留先生

現代日本の非営利組織——組織のマネジメントと個人のコミットメント——

日本のライブ文化とファン行動

日本におけるヒップホップ文化の展開

社会的弱者による犯罪

日本での結婚相手との出会いの場から見る結婚観の変化

女性身体における瘦身志向と若さという価値

ディズニープリンセスにおけるプリンセス像の変遷

感性文化ゼミ(現代の文化哲学) 小林信之先生

2.5 次元ミュージカルとは——新しい表現の魅力と可能性について——

TRPG におけるプレイヤーの情動に関する考察——クトゥルフ神話TRPG を中心に——

異文化接触ゼミ(メディア・コミュニケーション論) 高橋利枝先生

現代社会から見る、ファッションの今後の展望について——個人の行為としてのファッションと社会現象としてのファッション AI の可能性 ——LOVOT から考える——

野球におけるAI 利用の可能性について

ソーシャルメディアとしてのマッチングアプリ特有の偏見

Z 世代の考える未来の空港のあり方——デジタルテクノロジーの活用と旅客満足度向上に向けて——

「うっせえわ」から見る ポーカロイドの受容と現代の若者像

翻訳・通訳AIが日本若者の英語学習に与える影響

野球場スタンド内における酒類の購買意欲とその要因について

推し活における幸福感と消費行動について

若者女性の性の語りづらさについて

若者の外食行動と情報収集・発信に関する考察

大学生における観光を目的とした国内旅行と海外旅行の動機と懸念の違い

ゲームが対人交流に与える影響——スポーツとの比較を通じて——

三浦市潮風スポーツ公園多目的グラウンドの施設・設備改善と地域社会連携に向けた包括的提案——インタビューに、2030年 における パートナー AIロボット——人間の高度な自己実現を助ける存在として——

玩具と幼少期のジェンダー形成について

都市環境における大型小売店の新しい役割——家具を買わない若者はなぜイケアに足を運ぶのか

非対面コミュニケーションの可能性の考察

若者の英語コミュニケーションにおける苦手意識と「恥」意識に関する一考察——海外経験の有無の観点から——

卒業研究(担当教員)

萌え擬人化アニメの歴史とそのメカニズム(竹野内恵太先生)

コンテンポラリー・アートの文脈の中に現れるアウトソー-「生きた作品」に対する一考察-(小林信之先生)

引用の文化(小林信之先生)

脚本家坂元裕らしさとは——『Mother』以降のドラマにおける台詞の特徴——(酒井智宏先生)

ウェブトゥーンの単行本における表現の限界(陣野英則先生)

イベントにどう人々——VOCALOID 関連イベントを中心に(山田真茂留先生)

アパレルブランドにおける成功例と失敗例の分析(坂上桂子先生)

歴史観の形成—独仏歴史教科書の分析から—(宮城徳也先生)

国語辞典における外来語語末長音符号の表記ゆれの扱い(上野和昭先生)

トーベ・ヤンソンの筆致——ムーミンシリーズのキャラクターと作品の進化、そして作者の人生——(陣野英則先生)